

■令和2年度音楽研究科博士前期課程入試 実技試験内容及び課題曲

I. 作曲領域の提出作品

4曲以上（種類は問わない）の作品を提出してください。

II. 音楽学領域の研究計画書

音楽学領域の志望者は4,000字程度の研究計画を所定の様式で提出してください。

III. 声楽領域実技

- (1) アリアと歌曲の両方によって構成される10分以上15分以内のプログラムを組み、入学願書の「受験曲目」欄に作曲者名、曲名、曲ごとの演奏時間を記入し、提出してください。演奏時間には曲間は含みません。実質的な演奏時間が10分未満の場合は失格とします。
 - * アリアと歌曲の両方を必ず演奏してください。
 - * アリアは、オペラ・アリア、コンサート・アリア、あるいは宗教曲のアリアとし、原則として原調での演奏とします。
 - * 演奏はすべて暗譜でおこなってください。
 - * 作曲者を問わず、歌詞は原則として原語とします。
 - * 曲目は当日指定する場合があります。
- (2) 受験者は伴奏者を同伴してください。

IV. 鍵盤楽器領域（ピアノ）実技

下記のa) b) c) を必ず含むピアノ独奏作品による40分以上のプログラムを用意してください。

- a) バロック時代の任意の作品
 - b) 古典派（J. Haydn、W. A. Mozart、L. v. Beethovenに限る）の任意の作品
 - c) ロマン派以降の任意の作品
- ※ 出版されている作品に限ります。内部奏法などの特殊奏法を用いた作品は不可。
演奏曲目・演奏箇所を実技試験当日に指定します。
 - ※ a) b) c) はそれぞれ複数曲の選択も可。
 - ※ 暗譜で演奏してください。演奏をカットする場合があります。

V. 弦楽器領域実技

○ヴァイオリン

次の2曲を演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) J. S. Bach: Sonaten für Violine solo g-moll BWV1001、a-moll BWV1003、C-dur BWV1005
より任意の1曲の Fuga。 原典版の使用が望ましい
- (2) 次のグループ(a)~(g)より任意の1曲の第1楽章。カデンツァを含みます。
伴奏者を同伴してください。 使用版は自由
- (a) L. v. Beethoven: Konzert D-dur Op. 61
- (b) J. Brahms: Konzert D-dur Op. 77
- (c) F. Mendelssohn: Konzert e-moll Op. 64
- (d) P. Tchaikovsky: Konzert D-dur Op. 35
- (e) A. Dvořák: Konzert a-moll Op. 53
- (f) J. Sibelius: Konzert d-moll Op. 47
- (g) B. Bartók: Konzert Nr. 2 Sz. 112

○ヴィオラ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo BWV1007~1011 より任意の Prélude を1曲。
使用版は自由
- (2) 次のグループ(a)~(c)より任意の1曲の第1楽章。伴奏者を同伴してください。
- (a) W. Walton: Konzert 使用版は自由
- (b) P. Hindemith: “Der Schwanendreher” 使用版は自由
- (c) B. Bartók: Konzert (遺作) 使用版は自由

○チェロ

次の2曲を演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) J. S. Bach: Suiten für Violoncello solo Nr. 2 BWV1008、Nr. 3 BWV1009、Nr. 4 BWV1010
より任意の Prélude を1曲。 使用版は自由
- (2) 次のグループ(a)~(d)より任意の1曲の第1楽章。カデンツァを含みます。
伴奏者を同伴してください。 使用版は自由
- (a) J. Haydn: Konzert C-dur Hob. VIIb: 1
- (b) J. Haydn: Konzert D-dur Hob. VIIb: 2
- (c) A. Dvořák: Konzert h-moll Op. 104
- (d) R. Schumann: Konzert a-moll Op. 129

○コントラバス

次の2曲を、いずれもソロチューニングで演奏（暗譜）してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

- (1) Hans Fryba: Suite im alten Stil (A Suite in the Olden Style) für Kontrabass solo
よりプレリユード 使用版は自由
- (2) 以下の協奏曲の中から1曲を選び、その第1楽章および第2楽章。
伴奏者を同伴してください。 使用版は自由
Serge Koussevitzky: Konzert fis-moll
Giovanni Bottesini: Konzert Nr. 2 h-moll

○ハープ

次の2曲をすべて繰り返しなしで演奏（暗譜）してください。受験の際は本学の楽器を使用してください。なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。 使用版は自由

- (1) J. Parry: Sonate D-dur
- (2) C. Salzedo: Variations sur un thème dans le style ancien
(8番バリエーションの終わりに明記されているカットを行なって演奏すること)

VI. 管楽器領域実技

- (1) 課題曲

すべての楽器の受験者は、伴奏者を同伴してください。

なお、時間の都合により演奏をカットする場合があります。

受験曲目については、フルート、バストロンボーンの曲目以外は入学願書に記入する必要はありません。

- (2) 初見演奏

○フルート

- (1)(2)共に暗譜の必要はありません。 使用版は自由

- (1) 下記の2曲より1曲を選択し、演奏してください。

(a) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 1 in G Major K. 313 全楽章

(b) W. A. Mozart: Concerto for Flute and Orchestra No. 2 in D Major K. 314 全楽章

・カデンツァ付き、カデンツァは任意のもの。

・演奏箇所は当日指定します。

- (2) 自由曲（無伴奏曲も可）

・1800年以降、フルートのために作曲された作品から1曲選択すること。

・7分以上12分以内で演奏すること。カットして演奏することも可。

○オーボエ

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。 使用版は自由

- (1) W. A. Mozart: Concerto in C major K. 314 第1、2楽章<カデンツァ付き>

- (2) B. Britten: Six Metamorphoses after Ovid Op. 49 より当日指定

○クラリネット

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。使用版は自由

- (1) W. A. Mozart: *Konzert für Klarinette und Orchester* K. 622
第1・3楽章はカデンツァなし、第2楽章はカデンツァありで演奏してください。
- (2) I. Stravinsky: *Three Pieces for Clarinet Solo*

○バスーン (ファゴット)

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。使用版は自由

- (1) F. Devienne: *Sonata in F* Op. 24 No. 3
1. Allegro 2. Largo 3. Rondo Allegretto
- (2) E. Bozza: *Récit, Sicilienne et Rondo*

○サクソフォーン

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

J. Ibert: *Concertino da camera* 全楽章 Leduc 版

○ホルン

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。使用版は自由

- (1) W. A. Mozart: *Konzert für Horn Nr. 4 Es-dur* K. 495 <カデンツァなし>
- (2) P. Hindemith: *Sonate für Horn F-dur*

○トランペット

下記の曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

Henri Tomasi: *Concerto pour Trompette et Orchestre* Leduc 版

○トロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) F. David: *Concertino in E♭*, Op. 4 Zimmermann 版
暗譜で演奏してください。演奏箇所は当日指定します。
- (2) M. Arnold: *Fantasy for Trombone* Op. 101 使用版は自由
暗譜の必要はありません。

○バストロンボーン

下記の2曲を演奏してください。

- (1) F. David: *Concerto (Concertino) in B♭ for Bass Trombone* Zimmermann 版
暗譜で演奏してください。演奏箇所は当日指定します。
- (2) 下記の3曲より1曲を選択し、演奏してください。暗譜の必要はありません。
 - (a) J. S. Bach: *Cello Suite No. 5 BWV1011* より *Sarabande* 使用版は自由
繰り返しありで演奏してください。
 - (b) F. Hidas: *Meditation* 使用版は自由
 - (c) Walter S. Hartley: *Sonata Breve* 全楽章 使用版は自由

○ユーフォニアム

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

- (1) J. S. Bach: Sonate en Trio No. 1 BWV525 より第1楽章 Gerard Billaudot 版
- (2) J. Horovitz: Euphonium Concerto 全楽章 Novello 版

○チューバ

下記の2曲を演奏してください。暗譜の必要はありません。

- (1) E. Bozza: Concertino pour tuba en ut ou saxhorn basse en si bémol et orchestre ou piano
(ソロパートはチューバ用を使用してください。) Leduc 版
- (2) J. S. Bach: Suite für Violoncello solo Nr. 1 BWV1007 より Courante, Menuett I - II
原調で演奏してください。 使用版は自由

VII. 打楽器領域実技

以下の **A 課題** または **B 課題** のどちらかを選択してください。

A 課題 以下の(1)または(2)と、(3)を演奏してください。

- (1)ティンパニによる楽曲 (12分程度、省略可)
- (2)セットアップを含む楽器編成による楽曲 (12分程度、省略可)
- (3)スネアドラムまたはティンパニによる初見視奏

- ・課題(1)または(2)の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- ・ピアノ伴奏者が必要な場合は、同伴してください。
- ・大物打楽器は本学所有のものを使用いただけます。入学願書の「受験曲目」欄に、使用する楽器を記入してください。

B 課題 以下の(1)、(2)を演奏してください。

- (1)マリンバによる、12分程度の無伴奏独奏曲 (省略不可)。暗譜で演奏してください。
(参考例) 向井耕平: Prelude and Allegro、A. Viñao: Khan Variations、
J. Schwantner: Velocities、R. R. Bennett: After Syrinx II
- (2)マリンバによる初見視奏

- ・課題(1)の曲目は、入学願書の「受験曲目」欄に記入し、提出してください。
- ・課題(1)の譜面は、出願書類に同封し、提出してください。
- ・マリンバは本学所有のものを使用してください。(ヤマハ: YM-5100A)

■令和2年度音楽研究科博士前期課程入試 試験問題

西洋音楽史

(i) 作曲・声楽・鍵盤楽器・弦楽器・管楽器・打楽器領域
【試験問題】

I. 19世紀後半の音楽について、次の(1)～(4)からひとつを選び、具体的な作品を挙げながら論じてください。文字数の制限はありません。

- (1) 国民主義
- (2) 標題音楽
- (3) 交響曲
- (4) オペラ

II. 古典派における音楽の変遷について、ハイドン(1732-1809)、モーツァルト(1756-1791)、ベートーヴェン(1770-1827)の作品を挙げながら論じてください。文字数の制限はありません。

III. つぎの(1)から(20)の問いに答えてください。

下記の(1)から(12)にあてはまるものを、ア～トから選んでください。

ア	Salomon	サ	Philippe de Vitry
イ	Stamitz	シ	Guillaume de Machaut
ウ	Sammartini	ス	C. P. E. Bach
エ	J. C. Bach	セ	Fauré
オ	Beethoven	ソ	Lorenzo Da Ponte
カ	Rossini	タ	R. Murray Schafer
キ	Bellini	チ	Clementi
ク	Verdi	ツ	Liszt
ケ	Gossec	テ	Richard Strauss
コ	Schumann	ト	Metastasio

- (1) このイタリア人作曲家は交響曲の作曲で有名である。
- (2) ロンドンで活躍した人物で、若いモーツァルトに影響を与えた。
- (3) マンハイム楽派を確立した。
- (4) フランスにおける主導的な交響曲の作曲家。
- (5) 1825年頃にヨーロッパで最も有名で重要なオペラ作曲家。
- (6) ハイドンをロンドンに招聘した。
- (7) モーツァルトのオペラの主要な台本作家。
- (8) 『正しいクラヴィーア奏法への試論』を著し、音楽理論家としても業績を残した。
- (9) 音楽理論書『アルス・ノヴァ』を著し、アイソリズムの曲を書いた。
- (10) 交響詩を創始した。
- (11) ピアノの練習曲〈グラドゥス・アド・パルナッスム〉を作曲した。
- (12) サウンド・スケープの提唱者。

(次ページに続く)

次の (13) から (20) の問いに教えてください。

(13) 新ドイツ楽派に含まれないのは次の誰ですか？

(ア) Wagner (イ) Richard Strauss (ウ) Brahms (エ) Liszt

(14) 自分の歌曲による主題を自分の室内楽曲で使った作曲家は次の誰ですか？

(ア) Robert Schumann (イ) Clara Schumann (ウ) Mendelssohn (エ) Schubert

(15) テレマンに当てはまるのは、次のどれですか？

(ア) 作品数は少ない

(イ) J. S. バッハより人気があった

(ウ) イタリア様式の作品を書いた

(エ) ライプツィヒを代表する作曲家である

(16) “ソナタ・ダ・キエザ” に当てはまるのは、次のどれですか？

(ア) 緩—急—緩—急の楽章で構成される

(イ) プレリユードと、様式化された舞曲で構成される

(ウ) カンタータと同義語

(エ) 大規模な器楽合奏のための曲

(17) ストラヴィンスキーに最初のバレエ曲を委嘱したのは次の誰ですか？

(ア) ディアギレフ (イ) ニジンスキー (ウ) リムスキー＝コルサコフ (エ) フォーキン

(18) 12 音技法による作品は、次のどれですか？

(ア) 月に憑かれたピエロ

(イ) 浄夜

(ウ) 弦楽四重奏曲第 2 番

(エ) ピアノ組曲

(19) ベルクの《ヴォツェック》に当てはまるのは、次のどれですか？

(ア) 印象主義

(イ) 原始主義

(ウ) 表現主義

(エ) 新古典主義

(20) ショパンは誰のノクターンの影響を受けましたか？

(ア) シューベルト

(イ) フィールド

(ウ) クレメンティ

(エ) リスト

【出題の意図】

大学院での研究に必要な音楽史の基礎的知識を備えているかを問う。音楽史におけるさまざまな様式を認識し、それを歴史的な脈絡で捉えるための知識が必要とされる。

【解答】

I (記述式問題のため、省略)

II (記述式問題のため、省略)

III (1) ウ (2) エ (3) イ (4) ケ (5) カ (6) ア (7) ソ (8) ス (9) サ (10) ツ
(11) チ (12) タ (13) ウ (14) エ (15) イ (16) ア (17) ア (18) エ (19) ウ (20) イ

(ii) 音楽学領域

【試験問題】

I 次の(1)～(4)からひとつ選び、論じてください。なお、文字数の制限はありません。

- (1) 21世紀における音楽と社会
- (2) 20世紀におけるJ. S. バッハ
- (3) 音楽史と受容史
- (4) 音楽史におけるシンセサイザー

II 次の①～⑩を説明してください。

- ① Singspiel
- ② Gesamtkunstwerk
- ③ Agnus Dei
- ④ organum
- ⑤ total serialism
- ⑥ cantus firmus
- ⑦ Tristan chord
- ⑧ opéra comique
- ⑨ London Symphonies
- ⑩ castrato

【出題の意図】

大学院における音楽学研究に必要な、西洋音楽史に関する基礎的知識および理解力を備えているか、さらに、それを歴史的文脈でとらえ、論じる力があるかを問う。

【解答】

(記述式問題のため、省略)

※令和3年度入学者選抜より、音楽学領域の試験科目「西洋音楽史」は、「音楽学」に変更します。

試験科目「音楽学」は、西洋音楽史を中心に出题します。

外国語〔英語・独語・仏語・伊語〕(作曲・声楽・鍵盤楽器・弦楽器・管楽器・打楽器領域)

【出題の意図】

大学院での研究に必要な外国語の文献を理解する能力を備えているかを問う。外国語の文章の語句、節、文レベルの理解だけでなく、段落全体の論旨の展開を把握する読解力が必要とされる。また、解答に際しては原文の理解を正確な日本語で訳出することが求められる。

外国語〔英語〕(音楽学領域)

【出題の意図】

大学院における音楽学研究に必要な、語学の能力を備えているかを問う。

※外国語の試験問題は、本学管理棟3階入試課において閲覧できます。

(閲覧時間 平日午前9時から午後5時まで)